



～大田管理者からみなさまへ～

4. 指導士会の活動と「新しい生活様式」に合わせた活動



1年間の活動の全県のまとめが指導士会に報告されたと思います。集計は3月を省いた、11か月分になります。教室開催数は40,989回、指導士参加延べ人数138,864人、住民参加延べ人数571,291人という結果でした。欠けた1か月の活動数を単純に月平均を計算して加算すると、昨年度とほとんど変わらない数字になり、指導士さんたちの活動は相変わらず活発だと敬服するばかりです。

プラザでは「新しい生活様式」に合わせた指導士養成事業の在り方を模索しています。さらに、この通信もそうですが現在指導士会で活躍している人たちはもちろんのこと、一度指導士になってもやむを得ず退会された指導士さんが一生健康のことに関心を寄せていただけるように、プラザと密接な関係をつくる対策を模索しています。コロナに負けてばかりはいられません。

指導士会から

体操教室再開に向けた取り組みの様子や指導士会での状況についてお話を頂きました。

□ 牛久市指導士会 渡部会長から □

突然全ての活動が自粛となってから3か月半、実に長い自粛生活でしたが、やっと活動再開に向けた準備に入りました。一堂に会しての定例会は、7月から2班に分けて行う予定です。但し会場との調整があるのでかなり厄介になります。

体操教室は、7月を目途に活動再開できるように市担当課に協力しながら、「安全に教室運営ができる環境が整えられるか」を把握するために、再開に向けたアンケートを行っているところです。教室によって課題となる点もあるので、検討しながらできる所から始める予定です。

また、感染症予防のための「対策指針」に基づき「体操教室でのガイドライン」を作成しました。長期戦が予測される新型コロナウイルスとの闘いなので、安全第一を念頭に慎重に活動を始めていきます。

■ 利根町指導士会 荒木会長から ■

2月末から体操教室を中止していましたが、6月8日から茨城版コロナ Next[ステージ1]への緩和により約3か月ぶりに再開しました。この再開を待ちわびていた懐かしい顔があちらこちらにありました。事前に自粛解除後の「新しい生活様式」を基本としたこれだけは守って欲しい4項目を中心に従来のシル・リハ体操を一部変更する等の文書を配布して周知・徹底してスタートしました。当日の教室は従来とは様相が一変し、全員色とりどりのマスクを着用、社会的距離を保ちつつも楽しい教室風景でした。順次各体操教室も再開して、また従前の賑わいのある教室が戻ることを期待しています。なお、指導士会の定例会も6/18から再開します。

■ 常陸太田市指導士会 小林会長から ■

新型コロナウイルス感染防止に伴い自主グループ体操教室94教室全てを3月から活動休止とし、「ワンポイント健康紙芝居」の活用も途中下車となりました。

皆さんの指導士会は何時、どのようにして再開するのでしょうか？

当会では、活動再開に向けては市町村主管課(健康づくり推進課)との連携を図り、第一回役員会議はマスク着用で開催し、保健師から新型コロナウイルスの怖さ及び体操教室の感染防止対策(参考)についてお話頂きました。

6月8日の茨城版コロナ Next「ステージ1」引き下げに伴い、又県立健康プラザの方針を受けて活動再開に向けてのタイムスケジュール・ガイダンス等の策定を計画しています。7月には強制することなく、無理なく、出来る体操教室から再開できればと考えてます。

健康プラザからのお知らせ

● 3級講習会 202コースを現在開催中です。

本通信はプラザのホームページに掲載しております。過去の通信も、プラザのホームページ(介護予防>シルバーリハビリ体操指導士のコーナー)からご覧ください。

[編集後記]

プラザ宛に、安全に体操教室を再開するための取り組みの様子について、たくさんの方から情報提供を頂いています。予想以上の反響でとても嬉しいです😊プラザスタッフだけでなく、みなさまと共に情報共有したい内容であるため次号に掲載する予定です。お楽しみに!!

また、これからの暑い季節、マスクを着用しながらの体操は熱中症の恐れがあります。水分補給を忘れないように気をつけて下さいね。

